

	項目	内容	関連計画等	回答
1	通学方法	自転車通学になるのか、バス通学になるのか。	推進計画 p 32 2(2)	校区統合により、通学先が変更となり、通学に際し、一定以上の距離又は時間が必要となる生徒については、公共交通機関の運賃補助、スクールバス等による支援が必要と考えています。市において通学支援に関する基本的な考え方（素案は第5回説明内容を参照）を取りまとめたいと考えています。 また、より詳細な検討については統合対象の学校区ごとに設置する開校準備会議等（令和6年度設置予定）で行い、地域実態に即した通学支援方法を検討します。
2	通学方法	通学手段については、早めに検討をしていただきたい。	推進計画 p 32 2(2)	ご意見1に対する回答を参照ください。
3	通学方法	使用施設が黒中になると、比延地区の方は通学方法や距離が心配	推進計画 p 32 2(2)	ご意見1に対する回答を参照ください。
4	通学方法	使用施設が東中になると、黒田庄地区の方は通学方法や距離が心配	推進計画 p 32 2(2)	ご意見1に対する回答を参照ください。
5	通学方法	自転車通学できない遠方の生徒の通学方法を具体的に知りたい 親が送迎するのか、通学バスが出るのか ...	推進計画 p 32 2(2)	ご意見1に対する回答を参照ください。

	項目	内容	関連計画等	回答
6	通学方法	通学距離が伸びて、通学時間が長くなる人数が多いのはどうなんだろう。学習する時間が減るのでは？	推進計画 p 32 2(2) エ	<p>通学時間等を考慮し、通学支援を行うこととしています。ご意見1に対する回答を参照ください。</p> <p>なお、事前の検討段階では、通学支援対象と想定される人数はどちらの学校を活用した場合もほぼ同数の最大80名程度と想定されます。</p>
7	通学方法	登下校の安全（スクールバスを出すつもりはないのか）	推進計画 p 32 2	<p>ご意見1に対する回答を参照ください。</p> <p>また、通学路上の危険個所については「西脇市通学路の安全確保に係る連絡会議」に諮り警察、道路管理者等の関係者と連携のうえ、支援を得ながら、安全確保を図ります。</p>
8	通学方法	小学校・中学校の通学についての安全面の確保	推進計画 p 32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
9	通学方法	計画書からJRも文字を抜いて「公共機関」となったが、バスは通っていないのでJRとなるのではないか？それ以外の支援はないのか？	推進計画 p 32 2(2)	<p>通学支援の方法としては、大きく分けて、公共交通機関、市が運行または委託運行するスクールバスの2つの方法が考えられます。JRや路線バスでの通学が運行ダイヤや輸送量など実態に即している学校区では、公共交通機関の運賃を負担する支援方法も考えられますが、現時点で、通学支援方法をそれに限定するものではありません。</p> <p>ご意見1に対する回答を参照ください。</p>

	項目	内容	関連計画等	回答
10	通学方法	大人数が学校までの距離が長くなることは危険の割合が高くなる。 それに関する対策は（夕暮れの事故、事件の危険、道路の交通の危険など）？	推進計画 p 32 2	通学路上の危険個所については「西脇市通学路の安全確保に係る連絡会議」に諮り警察、道路管理者等の関係者と連携のうえ、支援を得ながら、安全確保を図ります。
11	通学方法	ハザードマップの安全性	推進計画 p 32 2	学校施設や通学路の選定に当たっては、ハザードマップによる検証も必要であると考えます。
12	通学方法	登下校の通学路の安全性	推進計画 p 32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
13	通学方法	登校時が心配	推進計画 p 32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
14	通学方法	電車で通学した場合、運賃の補助金などは出るのか。	推進計画 p 32 2(2)	ご意見1に対する回答を参照ください。
15	通学方法	サイクルトレインの活用と言われているが、2, 3台の活用でどうなるのか？	推進計画 p 32 2(2)	サイクルトレインは、人口減少、過疎化が進む地域において、既存の公共交通機関と自転車利用を組み合わせることで、利便性を確保するとともに、持続可能な交通ネットワークの維持を図ることのできる取り組み事例として紹介したものです。 児童・生徒の通学に指定するためには、鉄道の輸送量や駅や車内での安全性など様々なハードルがあると想定されますが、部活動等の移動などで、他の通学手段と比して安全面や利便性等の面で優位である場合には活用も考えられます。

	項目	内容	関連計画等	回答
16	通学方法	子どもの通学の安全面	推進計画 p 32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
17	通学方法	説明にあった（サイクルトレインは実質無理では？）	推進計画 p 32 2	ご意見15に対する回答を参照ください。
18	通学方法	学校から通学が遠くなる子どもたちの通学支援をどう考えているか。	推進計画 p 32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
19	通学方法	サイクルトレインは、子どもの安全を確保できないのではないか。	推進計画 p 32 2	ご意見15に対する回答を参照ください。
20	通学方法	通学について いずれにせよ遠方となるので、バスを可能とするのか。	推進計画 p 32 2(2)	ご意見 1 に対する回答を参照ください。
21	通学方法	（バス通学の場合）バス運転者を含め、各家庭としての負担が増えないか。部活動等による早朝・遅番対応を可能としてもらえるのか。	推進計画 p 32 2(2)	ご意見 1 に対する回答を参照ください。 部活動等による早朝をはじめ、休業期間中のスクールバスの運行等による通学支援については、今後検討を行います。
22	通学方法	（自転車のみの場合）安全確保をどう考えているのか。	推進計画 p 32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
23	通学方法	（安全対策）遠方による電動自転車導入等は？	推進計画 p 32 2	通学支援の方法のひとつとして、懇談会等でご意見をお伺いします。

	項目	内容	関連計画等	回答
24	通学方法	通学距離が遠いことにも発生する通学路の安全確保(不審者・通学路の街灯)	推進計画 p32 2	ご意見7に対する回答を参照ください。
25	懇談会	会議が公表されることで、懇談会でのコメントに関し特定され、個人的に指摘されるようなことにならないか。	—	会議の公表に当たっては、発言内容等について個人の特定につながるような公表とされないように留意します。
26	懇談会	懇談会での意見交換は、地区会員の意向を反映したものとは限らず、個人見解の場合もある。その個人見解で、全体の方向性が決まるとなれば、代表者は相当なプレッシャーを感じ、自身の想いを発言することに躊躇しないか懸念する。	—	懇談会は、各委員にその所属団体や地域等を代表するような意見を求めるものではありません。各委員が1人の保護者、地域住民として、子どもの学習環境について話しやすい懇談会となるように運営を進めます。
27	懇談会	保護者としての考えや意向を伝える場が懇談会であるが、この懇談会で出た意見や考えはどのようにまとめられ地域住民にフィードバックされるのか。正確に伝わるか心配である。	—	モニター視聴による傍聴、統合懇談会通信による周知、HPへの資料を含む掲載、広報にしわき等で周知を図ります。

	項目	内容	関連計画等	回答
28	懇談会	懇談会での意見交換は意思決定をしないまま終了する。懇談会で交わされた「意見や発言」の最終的なまとめ（総括）はどのような形で行われるのか。	—	ご意見27に対する回答を参照ください。
29	懇談会	今回の事前アンケートは余裕がなく記入できなかった方もおられるかもしれない。5月11日の懇談会時に再度提出を受け付けてはどうか。	—	再度周知のうえ、提出があれば適宜反映します。
30	懇談会	事前アンケートの内容（意見と回答）は懇談会出席者に開示していただきたい。	—	第1回で概要を開示するほか、各回のテーマに沿った形で回答する予定です。
31	懇談会	懇談会での協議が時間で制限されることがないようにしてほしい。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。
32	懇談会	子どもたちが良かったと思えるような結果を。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。
33	懇談会	懇談会という名のパフォーマンスですすでに結果は決まっているのではないのか。	推進計画 p 23	推進計画において、活用する施設は協議により決定するとしています。教育委員会での協議に当たり、懇談会でのご意見を参考にさせていただきます。
34	懇談会	統合懇談会が何のために必要なのか、参加することで何が行われるのか。	推進計画 p 23	ご意見33に対する回答を参照ください。

	項目	内容	関連計画等	回答
35	懇談会	事前の情報が少なすぎて、わからないことだらけです。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。 また、懇談会開催に当たり、委員の皆さまにはこれまでの経緯等含め、必要な情報を提供、報告させていただきます。
36	懇談会	数の話ではなく、未来に向けてどのような町にしていくのか。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。
37	懇談会	育児や教育について多様な意思のもと、判断していただけたらと感じる。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。
38	懇談会	話し合いには、どちらの施設を選ぶしか選択肢はないのか。	推進計画 P19、P23	懇談会運営に対するご意見として承ります。 推進計画において、活用する施設（校舎）は既存教育施設の活用を基本として、協議により決定するとしています。教育委員会では懇談会でのご意見等を踏まえ活用施設を決定することとしており、原則として既存施設の活用を前提とした懇談会運営を想定していません。 ただし、子どもにとって良い学習環境とは何かを考えるうえで、議論を深めることにつながる第三案的な意見を妨げるものではありません。
39	懇談会	どのような結果になるにせよ、両校の子どもにとって何が一番良いかを協議したい。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。
40	懇談会	子どもの学校生活を中心に考えて、大人の都合の話し合いにならないように。	—	懇談会運営に対するご意見として承ります。

	項目	内容	関連計画等	回答
41	市（教育委員会）	決定のプロセスが、ブラックボックスになるのではないか。	推進計画 p23	推進計画において、活用する施設は協議により決定するとしています。教育委員会での協議に当たり、懇談会でのご意見を参考にさせていただきます。
42	市（教育委員会）	生徒数はどう判断されるのか。	—	活用する施設を決定する協議の判断材料のひとつとして考慮する必要があると考えます。
43	市（教育委員会）	現状、黒田庄は特産のものを西脇のもの扱いされるばかりで、黒田庄の発展のための事をしてもらえない。合併のときに入っている補助金は黒田庄のために使う気はないということなのか。	—	本市は、平成16年の旧西脇市と旧黒田庄町の合併により新市の西脇市として、行財政運営を行っています。旧黒田庄町の域内においても合併特例債等の有利な財源を活用して必要な投資を行っているほか、新市として、地域の特性や現状等に配慮しながら合併による規模の優位性等を生かした一体的な行政サービスの展開を図っています。
44	市（教育委員会）	教育予算をもう少し上げてもらいたい 破損しているところは修理できるように予算を回してほしい。 近隣市町と同じくらいの教育予算を検討してほしい。	—	予算については、学校の修繕等を含め必要な事務事業が遂行できるよう、教育委員会事務局において、要求を行い、措置されるよう関係課等と調整を行っています。なお、予算については、毎年度、様々な要因から検討・措置されるものと考えており近隣市町と同様な状況となるとは限りません。ただし、本市で展開される教育行政の水準が他市町と比べて著しく均衡が取れていない状況とならないよう他市町の動向等を注視のうえ、必要な予算の措置が図られるよう努めます。
45	市（教育委員会）	今の西脇市教育委員会・学校適正推進課が不安であり心配	—	教育委員会事務局へのご意見として承ります。

	項目	内容	関連計画等	回答
46	市（教育委員会）	最初の保護者の意見を聞かない市の姿勢はどうかと思うし、市の職員も自分の子と思い、真剣に考えていただきたかった。	—	教育委員会事務局へのご意見として承ります。
47	地域	黒田庄地区と比延地区でうまくいくのでしょうか。	—	人口減少と少子高齢化の進行によって、学校教育に関するだけでなく、様々な課題が地域で生じています。そうした中で、それらの課題を旧市町や旧町村の枠内だけで解決を図っていくことは困難であると考えられます。 そのため、懇談会では、両校区の子どもたちにとって、良好な学習環境を実現するために、校区や地域の枠のみによらない観点からの意見交換や検討を進めていただきたいと考えています。
48	地域	2校のどちらかにするだと両地域の綱引きになり、溝がでないか心配	—	ご意見47に対する回答を参照ください。
49	地域	廃校は若い世帯の転入がなくなり、地域衰退を加速させるのではないかと不安	推進計画 p 23	廃校となる学校施設については、重要な社会資本であることから、小中学校廃校舎施設等の利活用に関する基本方針（仮称）を示し、当該地域に十分な情報提供を行うとともに、当該地域と十分に協議しながら、利活用・処分等の方向付けを行うことになると想定しています。
50	地域	廃校になる地域が廃れないような取り組みをしてもらいたい。	推進計画 p 23	ご意見49に対する回答を参照ください。
51	地域	今後、比延・黒田庄から学校がなくなると過疎化が進むのではないか。	推進計画 p 23	ご意見49に対する回答を参照ください。

	項目	内容	関連計画等	回答
52	2校化前倒し	東中と黒中の統合はせずに西中との合併時期を早める方がいい。	推進計画 p 21	中学校4拠点から3拠点を経ずに2拠点へ向かうご意見は、西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議でも議論されました。しかし、早急な2拠点化となると早期の開校が難しく、時間がかかることが想定され、すでに1学年1学級となっている中学校もあることから、3拠点を経て2拠点とする答申が提出されました。これらのことから、答申を尊重し、まず3拠点を経る推進計画を策定したものです。
53	2校化前倒し	懇談会参加者によるベターな選択として「両地区から等距離のエリア（津万周辺）に新校舎を建設した方が良いとの方向性が示された場合、軌道修正できるか。	推進計画 p 21	2拠点化を見据えた3拠点化であるという答申内容に沿った推進計画になっているため、3拠点化を前提条件として議論していただきたいと考えています。 ただし、子どもたちにとってより良い学習環境とは何かを考えるに当たって議論を深めることに繋がる第3案的な発言を妨げるものではありません。
54	2校化前倒し	小学校も順次統合されるのであれば、小中一貫校を新設する等、両地域の間地点に新しく設立するのは不可能なのでしょうか。	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。
55	2校化前倒し	子ども達の通学の安全、学習環境の整備、設備の充実、部活動の活性化を考え、両地域からのアクセスが比較的しやすい場所に新設を希望します。	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。

	項目	内容	関連計画等	回答
56	2校化前倒し	東中と黒中の子どもたちに負荷をかけるのではなく、平等に西脇市の子どもたちに負荷をかけて、不公平をなくし、3校ではなく初めから2校に統廃合すべきだと思います	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。
57	その他	閉校後の学校施設はどうなりますか。	推進計画 p 23	ご意見49に対する回答を参照ください。
58	その他	廃校となるエリアは、やがて衰退する構図は容易に想像できる。廃校となっても子ども達（地域住民）にとって、プラスと感じる施設（代替案）を提示することも重要である。	推進計画 p 23	ご意見49に対する回答を参照ください。
59	その他	使用されなくなる学校の利用について	推進計画 p 23	ご意見49に対する回答を参照ください。
60	その他	将来的に西中に統合されるのであれば、前倒しして西中へ行けないか。	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。

	項目	内容	関連計画等	回答
61	その他	数年後に西中と南中 2校になるなら、それまでは既存の状態 で生徒を動かすのでは なく、先生方に東中、 黒中の両方で授業をして いただくことはできない でしょうか（オンライン授 業等）。	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。
62	その他	西中との統合が決ま っているのに、その前 に統合する理由、必要 性の説明	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。
63	その他	どうして最終の西脇 中学校の統合まで待 てないのか。	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。
64	その他	市内の中学校が統合 するのは理解できる が、なぜ東中と黒中 が合併するのか理解 できない。	推進計画 p 21	ご意見52に対する回答を参照ください。
65	その他	地域住民等の意向調 査はいつ・誰を対象 にどのような内容で 行われるのか。	推進計画 p 23	懇談会での意見等を踏ま え実施する必要がある と考えており、懇談会 終了後の8月～9月を 想定しています。実施 方法等については未定 ですが、地域住民、保 護者等を想定し、郵送 や学校配布等を想定 しています。
66	その他	懇談会出席者に対し て、事前アンケート を行ったが、保護者 全員に対し同様のア ンケートを行うべき でないか。	推進計画 p 23	ご意見65に対する回答 を参照ください。

	項目	内容	関連計画等	回答
67	その他	部活動・水泳などの場所の確保はできるのか。	推進計画 p19 3	校庭の広さ、経年の違いがありますが、どちらの施設（校舎）を活用した場合でも確保は当面可能であると考えています。
68	その他	部活動を委託する件に関して（移動手段・土日）はどうするのか。	推進計画 p16	学校部活動地域移行検討会議等で、具体的な検討を行う必要があると考えていますが、従来どおり、会場への送迎等で一定程度の保護者負担等が生ずることも想定されます。
69	その他	ゴルフ部は子どもに需要ある？	—	令和5年度の総合教育会議において、地域資源を活用した部活動として民間企業から提案を受けたものとして事例を紹介したものであり、教育委員会や学校部活動地域移行検討会議等で、部活動として決定したものではありません。
70	その他	新しい環境に生徒が困惑しないか。	推進計画 p32	統合に当たり、環境変化に伴う影響を可能な限り低減できるような開校準備と統合後のサポート体制の確立が必要と考えています。
71	その他	複式学級での学力の低下	推進計画 p20	学力のみならず、様々な観点から検討を行い、より良い学習環境の基本的な考え方を取りまとめた結果、小学校においては、複式学級の解消ができることを学校の適正規模と決めました。

	項目	内容	関連計画等	回答
72	その他	部活動を外部委託し、城山公園や西脇公園周辺の球場や施設を使う案があったが移動方法、移動による部活動実施時間・下校時刻の遅れ、下校方法土日の部活の行き方（保護者負担？）、移動に伴う安全（学校で済むなら移動がない分、部活動による事故は少ない）はどのように守られるのか。	推進計画 p 16	ご意見68に対する回答を参照ください。
73	その他	普通に考えて、大きい方が小さい方へ移るのはおかしい。	推進計画 p 23	子どもたちにとって、より良い学習環境を実現するために、懇談会等のご意見を踏まえ、統合校として、どちらの施設を活用すべきか教育委員会で協議のうえ、決定します。
74	その他	黒田庄中は市内から離れていて他の3校との連携が取りづらいつらいつらといわれているが、これまで過去、何十年も何の問題もなく交流できている。	—	地理的位置のみが、統合校として活用する施設（校舎）を決定するものではないと考えています。

	項目	内容	関連計画等	回答
75	その他	「市の公共施設が」と言われているが、黒田庄にも体育館、グラウンドがちゃんとある。	—	ご意見74に対する回答を参照ください。
76	その他	加東市は小中が一緒だが、西脇市ではそういう視点がないのはなぜか。	推進計画 p15	西脇市においても小中一貫教育の推進を図ることとしており、西脇市学校学習環境規模適正化推進計画においても、考え方をお示ししています。